

## 資料 2

西東京市公民館運営審議会  
令和2年度第7回定例会議

## 令和2年度 公民館主催事業計画書

公運審提出日 令和2年12月23日

NO	実施公民館	事業名	事業目的	期間・回数	学習内容	主な講師等
1	田無	田無つながるプロジェクト ワクワクをつなげよう！ 田無公民館の未来予想図	耐震補強等改修工事のため、令和3年度に休館する田無公民館のリニューアルオープンに向けて、より利用しやすく、ワクワクするような公民館にしていくにはどうしたらよいか、田無公民館や周辺地域で活動する市民、団体が一緒に考える機会として、実施する。	2月23日（火・祝）	ワークショップ	高井 正（立教大学特任准教授）
2	芝久保	ドキュメンタリー映画上映会 「未来をなぞる 写真家・畠山直哉」	東日本大震災から10年の節目を迎えるにあたり、被災地にかかわる映画を上映する。	2月13日 土曜日	映画上映 監督のお話と主人公の写真家との対談（調整中）	畠山容平（映画監督） 畠山直哉（写真家、調整中）
3	ひばりが丘	開館30周年記念事業 第12回 ひばりが丘フェスティバル	今年度は、新型コロナウイルスの影響があることから観客を動員した会場での舞台発表は行わず、各団体の発表を録画・録音して記録動画を制作し、開館30周年記念のひばりが丘フェスティバルとして上映会を行う。	【撮影会】 1月23日、2月13日 土曜日 【参加団体試写会】 3月6日 土曜日 【一般上映会】 3月27日 土曜日	動画及び静止画によるひばりが丘公民館で活動する団体の日頃の活動の成果の発表 ・音楽やダンス等の発表 ・ちぎり絵や折り紙等の作品の発表	森 英男（記録動画の撮影・編集及び動画作成に関するアドバイザー） ※実行委員会方式で企画・運営

4	保谷駅前	<p>障害を理解する講座 だれもが暮らしやすい共生社会を目指して ～ インクルーシブ（包み込むような）コミュニティを築こう ～</p>	<p>障害のある人への差別をなくすことで障害のある人もない人も共に生きる社会をつくるために私たちができることは何かを考える。さらに、互いを支えあえるような地域のつながりを構築する第一歩として、障害の多様性を学ぶ機会とする。</p>	<p>2月25日 3月11日・18日 木曜日 全3回</p>	<p>①今、改めて考える“障害”とは ②制度からみた障害 ③共に生きる社会をつくるために私たちができること</p>	<p>松清あゆみ（東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学分野特任助教、理学療法士）</p>
5	保谷駅前	<p>地域講座 瞽女（ごぜ）唄が聞こえる</p>	<p>下保谷の歴史を追体験することで豊かに学ぶ。</p>	<p>3月4日 木曜日 1回目：11時～12時 2回目：14時～15時</p>	<p>保谷市史編纂委員会によってつくられた「下保谷の民俗」に、100年ほど前は毎年3月になると大泉出身の越後瞽女が弟子を連れて来ていたとあり、下保谷四丁目特別緑地保全地区、高橋家の母屋を使って歴史の追体験をする。</p>	<p>小関敦子（越後瞽女唄 伝承者）</p>